

「こころといのちの相談・支援東京ネットワーク」の概要

1 目的

自殺の背景となる、多重債務、いじめ、過労、健康問題、家庭問題など多様かつ複合的な要因に対して、多様な相談機関・窓口等が連携協力する「こころといのちの相談・支援東京ネットワーク」を構築し、自殺念慮を抱いた都民や自死遺族等が、その悩みに応じた相談・支援を受けることにより、多様な悩みの解決、ひいては自殺の未然防止を図る。

2 活動内容等

(1) 自殺念慮を抱いた都民等からの相談への対応

相談者が抱えている問題の解きほぐしを行い、所管する相談事項について丁寧かつ的確に対応して助言等を行う。

相談内容に他の機関の所管する事項があった場合は、その事項を所管する機関に確実につなぐ。

(2) 参画機関間の情報共有

各機関が受け付けている相談内容、相談受付時間等にかかる「こころといのちの相談・支援東京ネットワーク参画機関一覧」を作成し、参画機関間で情報共有を図る。

(3) 連絡会等の開催

各機関相互の連携を図るため、連絡会、研修会等を開催する。

(4) 参画機関リストの公表

参画機関一覧については、東京都ホームページや自発予防啓発ポスター等の広報媒体を通じて都民に周知する。

ゲートキーパー手帳に参画機関一覧を掲載し、これを参照しながら専門相談機関を紹介するなど、ゲートキーパーの実践活動の一助とする。

3 構成

別添「こころといのちの相談・支援東京ネットワーク参加機関一覧」のとおり